



「笑顔で輪になる千代田中」

昨年度の3年生の学級委員が書いたポスターの一枚です。見ただけで心が温くなるこのポスターが私は大好きです。

この言葉、書いた人が千代田中で過ごして感じたものか、それとも、そうなればいいなという理想を書いたものかはわかりませんが、素敵な言葉です。

今年度、このポスターのように笑顔で輪になる千代田中学校となりますように。

さて、4月5日、新入生152名を迎えました。2年生158名、3年生157名、総勢467名で、令和6年度千代田中学校をスタートします。今年度もこの学校長だよりを発行する校長の坂本由美です。千代田中学校で3年目を迎えます。どうぞよろしくお願いいたします。今年度も、本校のめざす学校像は、

**すべての人の命をとことん大切にする未来
その未来をともに創る子どもたち
その子どもたちの力を引き出す学校**

略して「**未来を創る子どもたちの力を引き出す学校**」です。その未来は、「命がとことん大切にされる未来」でなければなりません。世界では戦争や内戦、紛争などで多くの人の命がこの瞬間にも奪われています。今の中学生が大人になる未来は、命をとことん大切にする未来であってほしい、その未来をともに生き、その未来をともに創る子どもたちが今持っている素晴らしい力を引き出せる学校にしたいと考え、日々の教育をおこなっています。

めざす学校像のもと、**めざす子ども像・学校教育目標**として

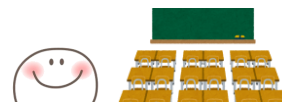
1. 思いを語り合い、考え合い、学びを深め合う生徒の育成
2. 人の役に立つことにより、自分を更新できる生徒の育成
3. ちがいを活かし、ともに生きる未来を創る生徒の育成

1. 学校生活の中で、思いを語り合ったり、考えを伝え合い、議論し合ったりして学びを深め合う中で、子どもたち同士の心と心がつながっていく。

2. 仲間のために、クラスのために、学校のために、地域のために行動し、人の役に立つことにより、「ありがとう。君のおかげで。」と感謝され、「自分は誰かの役に立っている、ここにいていいんだ。」と感じ、自己有用感を高め、自分を更新（アップデート・成長）していく。

3. 育った環境、家族のかたち、性格、見た目、好き嫌いなど、それぞれの持ち味を出し合い、ちがいを認め合い、ちがいがあるからこそ楽しいと言えるクラス、学年、学校にし、ともに生きる幸せな未来を創っていく。

これらの目標をスローガンとしてまとめた言葉が



つながり合い、学び合い、千代田愛

です。

教職員一同、これらの目標をめざし、子どもたちが毎日楽しいと思える学校生活が送れるように頑張ります。保護者のみなさまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度 教職員体制

	1年	2年	3年	学校全体にかかわる教職員	
学年主任	川野仁（社会）	中村高（保体）	小椋（国）	校長	坂本
1組担任	堂前（数）	岡（数）	塚本（音）	教頭	川畑
2組担任	竹崎（理）	河村（理）	山本（家）	首席	小椋
3組担任	山下沙（社）	前川（国）	和田（技）	教務主任	二川
4組担任	石田直（保体）	江城（美）	御園生（社）	生徒指導主事	益本
支援学級（フレックス）担任	石黒 長田 阪本	柏原 石田雅 中山	川野香	進路指導主事	中村誠
学年副担任	曾和（英） 小林（社） 大多（国） 森（数）	松岡（英） 西村（通級） 二川（数） 石坂（理）	中村誠（国） 川中（英） 浦川（英） 泉本（保体） 北川（数）	支援教育コーディネーター	土井
非常勤教員	安井（フレックス）	ハ丈（フレックス） 樋口（日本語）	松田（数） 山下雅（フレックス）	通級指導教室担当	西村・土井
				生徒支援コーディネーター	益本・西村・小林
				保健主事・養護教諭	平阪
				養護教諭	河口
				学校事務	寶木
				発達支援員	堂上・太田・金子
				生徒支援員	荒川
				言語力向上司書職員	額田
				英語指導支援員	ネルソン・フィリップ・アント・リュー
				スクールカウンセラー	木下
				GIGAスクールサポート	竹内
				学校管理員	清田・大濱・西



1年間、どうぞよろしくお願いいたします！

令和5年度末・令和6年度当初 教職員異動のお知らせ

【転出者】

楠本 隆宏	教頭	東中へ
スニ―瑞代	英語	加賀田中へ
喜多 由起	通級	長野中へ
池田 裕磨	保健体育	長野中へ
松本 貴芳	フレックス	南花台中へ
池側	国語	長野中へ
廣井 幸彦	理科	美加の台中へ
波戸岡京子	介助支援員	南花台中へ

【転任者】

川畑 知久	教頭	河内長野市教育委員会より
曾和真由美	英語	加賀田中より
小林 一樹	社会	長野中より
石田 直輝	保健体育	長野中より
竹崎 愛	理科	長野中より
泉本 優希	保健体育	美加の台中より
森 瑞樹	数学	新採
樋口絵里子	日本語指導	新規
金子 益美	発達支援員	南花台中より
木下 亜子	スクールカウンセラー	東中より

長い間、ありがとうございました！



令和6年度 部活動顧問体制

体育館	女子バスケット	中村高・石田雅・森・長田
	男子バスケット	石田直・土井・石坂・竹崎
	剣道	益本・中山・川中・泉本
運動場	サッカー	川野仁・堂前・北川
	陸上	御園生・小椋・岡
	女子テニス（軟式）	二川・山本・阪本
	男子テニス（硬式）	川野香・和田・中村誠
校舎内	女子卓球	松岡・山下・大多
	男子卓球	前川・小林・曾和
	吹奏楽	塚本・河村・西村
	文化1（美術・地歴）	江城・石黒
	文化2（将棋・家庭科）	柏原・浦川



※昨年度の保護者アンケート
に「クラブが昔に比べて活動が
少ない」というような
ご意見が1名の方からあり
ました。

現在、国からの通達で、
部活動は、「1週間に2回活動
しない日をつくること」「練習
時間は、平日2時間、休日3
時間」というおおまかなルー

ルがあります。本校では、会議日に1回休みをとり、日曜日を休みとしている部がほとんどです。
ただし、試合前やコンクール前などは、そのルールは当てはまらず、会議日にも練習したり、土日
連続で活動することがあります。もっともっと活動したいと思っている教員もいますが、それはで
きないきまりになっています。

保護者のみなさまが中学生だった頃の部活動のあり方とは違ったものになっておりますが、どう
かご理解くださいますようよろしくお願いいたします。

●新入生に3つのお願い！（入学式式辞まとめ）●



「つながり合い 学び合い 千代田愛」

1、「つながり合い」とは、ただ単に手をつなぐことではなく、心と心をつなげることです。昔、私の学年に、授業を勝手に抜けだしたり、ルールを守らなかったり、自分勝手な行動をばかりしてみんなからどんどん距離をおかれるようになったAさんがいました。（中略）Aさんに、勇気を出して本音でぶつかったBさんがいて、Aさんも本音が言えました。「勉強わかれへんかったらわたしもわからんこと多いけど教えるやん、一緒にがんばろよ。」とBさんが伝え、Bさんの勇気とやさしさがAさんに伝わり、Aさんは変わっていきました。心がつながったんだと感じました。まわりのみんなもAさんを認め、受け入れるようになりました。みなさんには、まわりで勉強がわからなくて困っている人や、友だちがいなくてひとりぼっちの人に声をかけられる、そんなBさんのような素敵な人になって、たくさんの友だちと心のつながりをつくってほしいと願っています。

2、「学び合い」。学校は一人で「学ぶ」のではなく、「学び合う」ところです。（中略）思いや考えを出し合って、よりよい生活の場を作っていく所です。仲間と学び合い、3年後、自分の進路を自分で決め、その夢に向かってしっかりと進んでいける人に成長してほしいと願っています。

3、千代中の「生徒指導だより」のタイトル「寄せ鍋」。寄せ鍋にはお肉や魚、野菜、豆腐などいろいろ入っています。それぞれの具材が、自分の持ち味を出し合い、その味が混ざり合って、とっても美味しいあったかい料理ができ上がります。白菜だけでは出ない味、豚肉だけでも出ない味、豆腐だけでも出ない味が一緒にぐつぐつ煮込むことでとても素敵な味になります。みなさん一人ひとりが、自分の持っている持ち味を出し合い、ちがいを認め合い、ちがうから美味しい、ちがうから楽しいといえるあったかいクラスや学年、千代中をつくってほしいと願っています。

千代中の先生たちも保護者のみなさんと力を合わせて、一人ひとりちがった持ち味を出せるように頑張ります。

人はひとりでは生きていけません。誰かのおかげで生かされています。支え合い、助け合って生きています。まわりの人を大切にし、人の心を温められる人に成長してくれることを願っています。

今日から、この千代中という大きい寄せ鍋の中で、美味しく温かい毎日を送ってくれることを願い、式辞といたします。



令和6年4月5日



地域のみなさま ありがとう！！ 学校支援コーディネーターの目良さんと浅井さんをはじめ、地域の方々にたくさん助けられています！左写真は、植えてくださった玄関で子どもたちを迎えてくれるかわいい花々です。図書館の本の整理のお手伝いや、家庭科の実習などにも入り込んでくださって、子どもたちの学習支援プラス教員のお手伝いもしてくださっています。いつもいつもありがとうございます。